

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

印西市立いには野小学校（千葉県）【指定校】

## 【取組内容】 ICT機器を活用した算数科での自己調整学習

## 取り組みの概要

算数科の面積を求める学習において、自己調整学習と従来の一斉指導を合わせた授業の組み立てを行った。

## 成果

学習方法の選択や振り返りを1枚のワークシートにまとめることで、児童は学習の流れを理解し、学習方法を自己調整することができた。  
ICT機器を使うかノートを使うかを自分で選択させることで、児童が自分に合った方法で学ぶことができた。  
ノートを使った児童の考えはICT機器で撮影して提出させた。  
教師は、提出されたワークシートを見ることで、児童の考えを集約することができ、1人1人の考えを見たり比較したりすることができた。



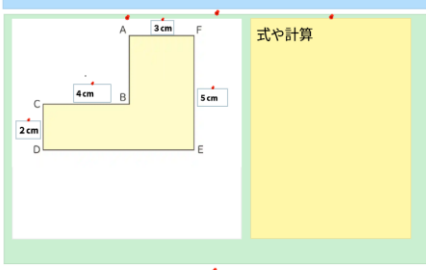
## &lt;学習計画表&gt;

| 月                 | 日              | 今日の学習内容                             | 面積                  |
|-------------------|----------------|-------------------------------------|---------------------|
| 何うほう              | どんなふうにとりくみますか？ | めあてを知る<br>計画を立てる                    | がくしゅうほうほうをここからえらびます |
|                   |                | まどめる<br>ふりかえりをする。                   | あ                   |
| ふりかえりどんなふうにとりくんだか |                | ふりかえりがくしゅうしたくないよう今日の学習したことがわかりましたか？ |                     |

←

はじめは「1人で学習する」学習方法を選んでいていた児童が、他の児童の考え方に興味を持ち、席を離れて意見を交流している様子。

【学】



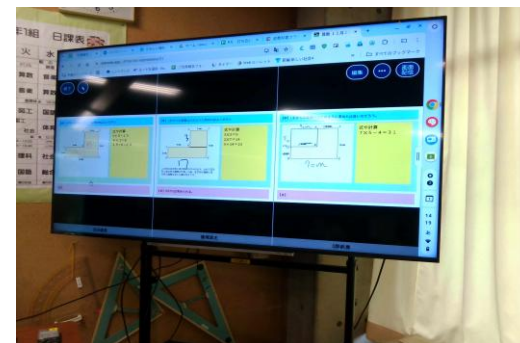
【ま】

←

簡潔でまとめやすいワークシートを使った。

→

全体で共有する場面では、比較検討をしやすいように、分け方の異なる3つの図形を大型テレビに並べて映し出した。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

印西市立いには野小学校（千葉県）【指定校】

## 【取組内容】 ICT機器を活用した探究活動

**取り組みの概要**

初めてのスライドへの取り組みだったため、インターネットの検索の仕方や、わかった情報をまとめる方法の指導から行った。大豆について、醤油工場に社会科見学に行ったり、本やインターネットから情報を収集したりし、各自がスライドにまとめ、発表した。

**【教え合い、発表の様子】**

初めての取り組みであったが、児童同士で教え合いをする場面が見られた。発表では、調べてまとめたことを説明したりクイズにしたりし、聞き手が楽しめるよう工夫していた。

**成果と課題****【成果】**

最初に、スライドについて丁寧に指導をしたため、すぐに使い方に慣れ、まとめることができるようになっていった。また、児童同士が機能の教え合いをする姿も見られ、ICT活用の技能が向上した。

**【課題】**

1枚のシートに調べた文章をそのまま書いているだけの児童もいたため、情報を精選させたり、図やイラストを入れたりするなど、見やすさの指導がまだ必要である。

**児童の反応**

最初はスライドの使い方に苦戦していたが、まとめたり、発表を行ったりすることで、抵抗感がなくなっていた。シートにまとめる作業を通して大豆に関する知識が深まり、充実した学習となった。



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

印西市立いには野小学校（千葉県）【指定校】

## 【取組内容】 ICT機器を活用した探究活動

**取り組みの概要**

第5学年社会科「水産業のさかなな地域」の学習において、水産業がさかなな地域の人たちの工夫や努力について、インターネットから情報を収集し、スライドにまとめ、発表した。



作成途中に、互いのスライドの見やすさや分かりやすさを児童同士で確認し合い、より良いプレゼン資料を作成した。

**子どもたちの変容**

従来の教科書や資料集から調べるやり方と違い、インターネットの情報で調べることで視覚的に捉えやすくなった。聞き手に分かりやすく説明することを目的として、資料選びやプレゼン資料の作成を行うことができた。

収集した情報の中から必要な内容を選択し、かつお節づくりの工程を箇条書きでまとめた。

かつおぶしの工程

- 1 解凍したカツオを捌く
- 2 茹でたカツオの骨を取り形を整える
- 3 二週間ほどいぶす ← 半年ほど繰り返す
- 4 保温庫でカビを付け乾燥させる ←



〈ちなみに〉

・カツオ節に使われるのはあぶらの少ないカツオが使われる

**課題と成果****〔成果〕**

スライドを活用してまとめたことで、収集した情報の中から必要な資料を選択することができた。また、互いに見合うことで、訂正や改善を行いやすく、よりよい資料の作成ができた。

**〔課題〕**

様々な情報を正しく使い分けたり、その内容を理解したりする力に個人差があった。

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

印西市立いには野小学校（千葉県）【指定校】

## 【取組内容】 北海道沼田町とのオンライン授業

## 取り組みの概要

国語科の「雪は新しいエネルギー」の単元で、本文に出てくる北海道沼田町の雪を持続可能な再生エネルギーとして利用する活動について、沼田町の利雪センターの方とオンライン授業を行った。昨年度から引き続きの実践となった。

## 成果と子どもたちの反応

教科書で説明文を読んでいても、なかなか実際の現場を想像するのは難しいが、現場の映像を見たり、北海道とオンラインでつながっていたりするという普段できない体験から、真剣に話を聞いていた。児童たちは、積極的に質問をして読みを深めていた。



←

教科書では画像と文章のみでの説明だったが、実際の北海道沼田町で雪の保存をしている様子を動画で見ることができた。

→

質疑応答では画面の向こう側の担当者と顔を見て話すことができ、北海道と千葉県の距離を感じることなく授業を受けることができた。

